

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成23年11月15日(火)

学 級 2年B組

(男12名、女12名、計24名)

授業者 阿部 純子

1 単元名 五 事実と意見 筆者の意見をとらえ、説得力のある表現を学ぶ

2 教材名 「モアイは語るー地球の未来」 国語2 (光村図書)

3 単元について

(1) 学習者観

説明的文章の読みに関して、1年次には、「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする」学習を進めてきた。また、小学校での文章構成の既習事項を生かしながら、「文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持たせる」学習にも取り組んできた。2年次には、論説文「文化を伝えるチンパンジー」を読み、文章全体と部分との関係を考えさせながら「事実」から「考察」へと続く文章の流れについて学習した。

しかし、複数の事実からどんなことが導き出されるのか等、自らが考察することに関しては苦手としている。筆者の論の展開に従ってスムーズに読むことはできるが、一步踏み込んで自分で考えることは苦手である。また、説明的文章の基本的な構成については理解しているが、「筆者の工夫」という観点から文章をとらえた経験が少ない。自分の表現に生かすためにも、そうした視点を持たせたいと考える。

大体の自分の意見を持つことはできても、文章で書いて表現するとなると二の足を踏む生徒が多い。意見はあるが、「何を根拠に、どのような順番で述べたらいいのか」ということを考える力が不足している。また、挙げられた根拠や理由は主観的なことが多く、説得力に欠けていることが多い。

授業で取り入れるグループ活動については、他教科でも行われており、4人での学習活動には慣れつつある現状である。

(2) 教材観

「モアイは語る」は、筆者が見出した事実を踏まえてイースター島の悲劇の歴史をたどり、改めて森林資源の大切さを訴える内容となっている。広大な宇宙という漆黒の海にぽっかりと浮かぶ地球と、絶海の孤島であるイースター島を重ねてみる筆者の着眼点のおもしろさにも触れることができる。イースター島については、1学期に英語の教科書でも取り上げられていることから、ある程度の知識を持っており、興味を持って教材に臨むことができると思われる。

全体は、「序論ー本論ー結論」の順で構成されている。序論での問題提起が、本論の4つの問いとなっており、その4つはそれぞれ「問い」から「事実」「考察」へとつながり、論の進め方が読み取りやすくなるよう工夫されている。この「問い」から「事実」「考察」(答え)という論の流れは、学習後、自分の力で説明する際にも取り組みやすいと考える。また、序盤には、イースター島やモアイに関する紹介もあり、読者の知識の程度に配慮するといった観点にも触れていきたい。

歴史にそって順を追った説明、明確な事実、適切な考察、読者の思考過程を意識した論の展開など、説得力のある文章を支える要素が多く盛り込まれた作品である。

(3) 学習指導観

「いわての未来」という意見文をかくことを主な言語活動とし、「読むこと」と「書くこと」を関連付けていきたい。教材文とそのリライト文との比較を通して、読み手を意識した文章構成や表現の工夫、より適切な根拠の選択など、自分の文章に生かすポイントをつかませ、ここでの学びを、意見文を書くことと、グループで個々の意見文を検討することへとつなげていきたい。

意見文を書くにあたり、まず「構想シート」を作成させる。「構想シート」には段落を意識し、どういう主張で、どういうことを取り上げるのかを大まかに書いた後、徐々に肉付けしていく形で取り組ませたいと考えている。

次に、その自分の主張を支える根拠となる情報を得るために、地元の新聞記事や関係する統計資料から選材させていく。その際、資料のどの部分に着目するのか、根拠となる資料相互の関係はどうなっているのかなどを考えさせたい。

続いて、結論をどの位置に置くのか、より効果的な論の展開方法はないか等、段落と段落とのつながりを考えさせ、文章構成の吟味をさせたいと考えている。

さらに、グループでも推敲させることで、より他に伝えることを意識した説得力のある文章に近づけさせたい。また、元の文章と検討後の文章を比較することで、文章構成の効果についても考えさせたいと考えている。

4 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・モアイ像やイースター島に興味を持ち、筆者の着眼点に着目しながら積極的に文章を読もうとする。
- ・テーマに対する資料を積極的に探し、自分の考えを伝えようとする。

【読むこと】

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。
(ウ)
- ・文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつことができる。
(エ)

【書くこと】

- ・自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、意見文の文章構成を工夫することができる。
(イ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・相手や目的に応じて、話や文章の展開に違いがあることを理解することができる。(オ)

5 主な言語活動

「いわての未来」について、600字～800字程度の意見文を書く。

6 指導計画（全9時間）

	時	学 習 活 動	評 価 規 準	評価方法
第一 次	1	全文を通読し、筆者の主張を読み取る。今後の学習の見通しをもつ。	文章の構成をとらえ、筆者の主張を読み取りその内容を書きまとめている。【読むこと】	発言、ノートへの記入の様子
第二 次	2	本教材とリライト教材とを読み比べ、説得力ある文章構成や根拠、表現について検討する。	本文と他の文章を読み比べ、自分の考えを持つとする。【関心・意欲・態度】 本文と他の文章とを比較しながら読み、主張と理由のつながりなど、どちらがより説得力があるか自分の考えを述べている。【読むこと】	発言、ワークシートへの記入の様子
第三 次	3	「いわての未来」について意見文の構想を立てる。(構想シートを書く。)	説得力のある意見文のポイントを押さえて、構想シートを書いている。【書くこと】	構想シートへの記入の様子
	4	根拠となる材料を選ぶ。	根拠としての妥当性や、自分の主張とのつながりを考えて資料を選んでいる。【書くこと】	活動の様子、構想シートへの記述
	5	構想シートに内容を書き足し、文章構成を考える。	テーマに関連した具体的な事実や体験を交えた根拠を入れ、意見文を書こうとしている。【関心・意欲・態度】 自分の立場や考えを、分かりやすい説明を入れ、根拠を明らかにして書いている。【書くこと】	活動の様子、構想シートへの記述
	6	グループで個々の意見文を検討し合う。 ※本時	自分の意見と根拠を挙げ、読む人を説得させる効果的な文章構成になっているか話し合っ て検討している。【書くこと】	話し合いの様子、ワークシートへの記述
	7	表現に留意し、意見文を書く。	自分の文章を読み返し、接続詞や文末表現にも留意して意見文を書いている。【書くこと】	活動の様子、意見文
	8	書いた意見文をグループで交流する。	他者の意見文を読み、よい点や課題点を指摘し合い、自分の意見文の表現に役立てている。【書くこと】	話し合いの様子、ワークシートへの記述
	9	文章を推敲し、清書をする。自己評価をし、学習を振り返る。	語句や文の使い方、段落相互の関係などを見直し、読みやすく分かりやすい文章を書いている。【書くこと】	清書作品、ワークシートへの記述

7 本時の学習

(1) 目標

グループで検討し合い、説得力のある意見文になるよう個々の文章構成を考えることができる。

(2) 展開

段階	学習内容・学習活動	教師の指導・支援 ◇評価	指導上の留意点
導入 3分	1. 本時の学習目標を確認する。	・本時の学習目標を提示する。	
	個々の意見文をよりよくするための改善策を考えよう。		
展開 32分	2. 検討の手順を確認する。	・検討の観点と手順を示す。 説得力のある意見文にするための視点を、 ① 意見・主張がしっかりしているか。 ② 意見を裏付ける根拠が書かれているか。(根拠の妥当性) ③ 分かりやすい構成で書かれているか。(段落の順序・つながり) 以上の3つに絞って順次検討させる。	☆構想シート ☆ワークシート ・司会者を確認し、時間の目処について説明する。
	3. 4人グループで構成について検討する。 ① 各自、構成シートに基づき、論の展開について説明する。 ② 観点によって、個々の意見文を検討し合う。	・個人の説明後、各観点から検討を行い、アドバイスを付箋紙に書くという手順を進めさせる。 ・付箋紙には、その意見文の良い点、課題点やその改善策を記入させる。 ・具体的改善策については、グループ内で話し合い、まとめさせる。	☆付箋紙 ・付箋紙に書かれたアドバイスは、ワークシートに貼り付けさせ、後の活動に活かす。
	4. グループでの検討結果を全体の前で発表する。	◇A：根拠の順序による違いや効果についてわかりやすく説明している。 B：自分の意見と根拠を挙げ、読む人を説得させる効果的な文章構成になっているか話し合って検討している。 Cへの手立て：周囲からの助言をもとに、文章を再構成させる。	☆実物投影機
終末 15分	5. 本時を振り返り、次時を見通す。 ・説得力ある文章の書き方について、本時の学習を通して学んだことを振り返る。 ・次時の見通しをもつ。	・各グループの発表の中から、指導のポイントとなるものを取り上げ、全体で共有する。 ・次時は、本時のアドバイスをもとに意見文を書き上げることを確認する。	

